

# 囲碁ボール ルール

## ゲームの進め方

- ①選手は試合開始の前にヒットラインに集合し、トス（じゃんけん等）で先攻を決めます。
- ②トスで勝ったチームが先攻で、黒いボールを使います。（この時先攻になりますと試合終了まで黒ボールを使います。）
- ③ヒット（スティックでボールを打つこと）順は、黒・白のチーム交互とします。
- ④両チームが全てのボールを打ち終わることを『1局』といいます。1局が終わればアウトボールを取り除き得点を記録します。
- ⑤1試合は5局の総合計で決めます。

## 競技方法

競技は、ヒットしたボールを目（穴）に停止させることを競います。

〈ヒットのボール数と順番〉

- ①1局内に一人が打つボールは次のとおりです。

対戦方法	1チームのボール数	1人が打つボール数
シングル(1人)	10個	10個
ダブルス(2人)	10個	5個
トリプルス(3人)	10個	2人が3個 1人が4個

ダブルス及びトリプルスの場合、チーム内でのヒット順番は自由です。

- ②スティックがボールに触れるのは1回限りです。
- ③ヒットしたボールが、既に打って停止しているボールに触れても反則となりません。

## 〈次の局〉

- ①1局が終了すれば、得点を計算し、次の局に入ります。
- ②次の局は、前の局の得点のいいチームが先攻となります。
- ③終了した局が同点の場合は、前の局の先攻チームが引き続き先攻となります。

## 〈ゲームの終了〉

- ①1試合の時間は30分です。
- ②時間内に5局を競います。
- ③試合途中で30分が過ぎた場合は、その局は続けますが、次の新しい局には入れません。ただし、故意にプレーを遅らせ、自分のチームを有利にすることはできません。

## 〈得点と勝敗の判定〉

得点には「ライン得点」と「ポイント得点」があります。

### 〔ライン得点〕

自分のチームのボールが縦・横・斜めのいずれかの目（穴）に3つ以上並ぶとライン得点となります。

並んだ数を「目」といい、できた組数を「連」といいます。

例えば、3つ並んだのが2組あれば、「3目2連」といいます。

ただし、6目以上は無効でライン得点になりません。

### 〔ポイント得点〕

目（穴）に停止しているボール数をポイント得点として記録します。チームボール10個すべてが、どこかの目（穴）に入った場合は、ポイント得点10のほかにライン得点の「5目1連」が与えられます。

## 〔判定〕

- ①全局の中で、数の多い「目」を取っているチームが勝ちです。
- ②「目」が同じ場合は「連」の数が多いチームが勝ちです。
- ③「目」も「連」も同じ場合は、その下の「目」を同じように判定します。
- ④すべてのライン得点と同じ場合は、ポイント得点で判定します。ポイント得点の合計数が多いチームが勝ちとなります。
- ⑥ポイント得点合計が同じ場合は、いずれかの局で高いポイント得点のあるチームが勝ちとなります。
- ⑦さらに同じ得点の場合は、トスで決めます。



囲碁ボール

囲碁ボールのルールや講習会のお問い合わせは「囲碁ボール協会」事務局

TEL 0795-72-0021

FAX 0795-72-0700